

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
法人A	従業員 2人	山梨県甲府市	法人化による経営継承	専門家派遣回数 2回

## 相談内容・現状課題

### ■相談内容

山梨県内にて葡萄栽培に取り組むY氏とI氏による法人化相談。Y氏とI氏は、I氏がY氏のもとで研修生として学んだ関係になる。

Y氏の後継者が不在であること、お互いの事業拡大や作業の効率化等による経営改善を図りたいこと等から、経営を統合し、法人化を図りたい。

特に、経営面、税務面、労務面から法人化する際の留意事項など専門家による助言をお願いしたい。

### ■現状課題等

- ① 経営面、税務面、労務面を踏まえた法人化の是非。
- ② 法人化にあたり、円滑な手続きを進めること。特に、お互いの所有する農地・農業用機械等の譲渡方法。
- ③ 法人化後の税務面や雇用拡大への対応と福利厚生面の充実など。

## 相談所の支援体制・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

### ■支援内容

- 1 支援チームの編成  
コーディネーター(中小企業診断士)、税理士、普及指導員及び事務局
- 2 支援内容
  - (1) コーディネーターによる支援
    - ・相談者の経営規模、財務状況の確認、今後の展望などのヒアリングにより、支援の方向性を整理。
  - (2) 税理士による支援
    - ・法人化に伴う留意事項やメリット・デメリットについて説明。
    - ・税務シミュレーションにより、個人事業による経営統合と法人化による経営統合との効果を比較。その結果、法人化による経営統合は必ずしも税務面では有利でないものの、法人化に伴う税務面以外の効果(今後の生産性向上、販路拡大、雇用拡大)を見据えた経営の重要性について説明(そのメリットをどの程度期待するか)。



I氏とY氏による葡萄の収穫作業

## 支援の成果・その後の状況

### ■支援の成果・その後の状況

相談前は、現状の所得に対する法人化のメリットや法人化に伴う手続き、個人資産の提供方法等について不安だったものの、コーディネーター支援によって現状の課題、法人化の目的・効果等について理解することができた。

続く専門家(税理士)支援では、個人事業と法人化による経営統合の比較(税務シミュレーション)により、各々のメリット・デメリットについて把握し、整理することができた。

法人化のメリット・デメリットを認識、納得の上で、令和元年11月に法人を設立するに至った。

### ■コーディネーター所感

経営承継や経営改善のみならず、双方による人間性や働きぶりの理解による実現可能性の高さから法人化による経営統合が妥当と判断した。今後、経営統合によるシナジー(1+1=2以上)効果が発揮されることを期待している。

また、経営が安定してきた段階で、雇用や福利厚生面の充実に向けた支援が効果的と考える。